

科 目 名
-------

<b>経済学原論</b> <b>Principles of economics</b>
--

1年 後期 2単位 選択

荒井 勝彦

## 概 要

本講義は、経済学に初めて接する学生（理系の1年生）を対象に、経済学の理論や専門知識を中心に教授するものである。

経済学の基礎理論は、ミクロ経済学とマクロ経済学という2つの大きな柱からなっている。個々の家計や企業の経済行動を分析し、これら主体が取引する市場の動きを研究するのが、ミクロ経済学である。これに対して、マクロ経済学とは、一国における経済の構造や仕組みを学び、経済全体の動きや経済活動の水準がどのようにして決まるかを理論的・統計的に研究する学問である。本講義では、ミクロ経済学とマクロ経済学の基礎理論を中心にできるだけ分かり易く授業する。

## 目 標

学生諸君は、この授業によって現実に生起するさまざまな経済事象（不況はなぜ起こるのか。失業はなぜ発生するのか。インフレはなぜ起こるのか等々。）を読み解くことができるように、経済学の理論や専門知識を学習し、「経済を見る目」を養ってもらいたい。

## 授業計画

授業は次のような順番で進める。

- I. 経済学入門——イントロダクション
  1. 経済学とはどのような学問か
  2. 3つの主要な経済問題とは何か
  3. 財や市場とは何か
- II. ミクロ経済学の世界——需要と供給の分析を学ぶ
  1. 需要や供給とは何か
  2. 価格弾力性とは何か
  3. 家計は購入する財をいかに選択するのか
  4. 企業は財の生産量をいかに決定するのか
  5. 完全競争と独占はどこが違うのか
  6. 市場の失敗とは何か
- III. マクロ経済学の世界——ケインズ経済学を学ぶ
  1. 国民所得はどのように決まるのか
  2. 利子率はどのように決まるのか
  3. IS-LM 分析とは何か
  4. 失業はなぜ起こるのか
  5. 財政金融政策は不況や失業を退治できるのか
  6. 物価水準はどのように決まるのか

## 成績評定の方法

出席と試験によって評価する。